

議会だより おかがき

No.91 12月定例会 平成25年1月25日発行

補正予算可決 ● 3

平成24年度一般会計・特別会計・公営企業会計

町政を問う ● 5

一般質問



五十年! 輝く岡垣 ひろがる未来
Anniversary
50th
since 1962

岡垣

あけまして おめでとろごぞいます



市津 広海

安部 弘彦

西 美千代

神崎 宣昭

太田 強

中村 好伸

曾宮 良壽

下川路 勲

横山 貞子

広渡 輝男

平山 弘

小野 元次



岡垣町議会議長
曾宮 良壽

正月に 暦と若さ 取り戻す

六四

昨年末、振り子が大きく振られて、「奪還」「取り戻す」政権が発足することになりました。

我が町でも新年早々この21日から、今後4年間の町政を担うリーダーが決まりました。

正月を迎えて気持ちを持って新たに今年こそと期待を持つのは、審判を受けたばかりの政権・洗礼を受けたばかりのリーダーに期待をするのと似ていなくは無いと思います。

食材・料理人・客の三拍子が調っていても、時と所に不調和があれば、食卓は不満足なものになります。

町民の皆さん、執行部、議会の関係も、調和を持ち、時と所を得て「住みたい、住み続けた

いまち 岡垣」の実現が可能になるので、どれが欠けても期待に応えられないいまちづくりになつてしまいます。

新しい年の議会は、次の統一地方選挙まで、欠員1の12名で町民の皆さんの期待に応えていかなければならないと覚悟を新たにしたところですが、削減した定数13の中で1名欠員の議会運営とならざるを得なくなったことは、二元代表制・議会制民主主義によって成り立っている議会として残念でなりません。

ともあれ新しい暦は壁に掛けられ、新しい歴史が刻まれてゆくので、議会として一日一日、着実に地道に持ち場を守り役目を果たすのみです。

町の発展と繁栄、町民の皆さんの健康と幸せをお祈りし、議会も町民の皆さんとともに町づくり邁進することをお約束し、年頭の挨拶といたします。





平成24年度一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算 一般会計1億1,243万円の補正予算可決

第4回定例会は11月28日から12月7日までの10日間の日程で開催され平成24年度一般会計補正予算を含む10議案・請願1件・発議3件の審議を行い可決・決定致しました。

本会議で提出された主な議案

- ① 遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の変更について
- ② 遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について
- ③ 福岡県市町村災害共済基金組合規約の変更について
- ④ 福岡県市町村災害共済基金組合の解散について
- ⑤ 福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う財産処分について

請願

- ① 拉致問題意見書決議に関する請願書

発議

- ① 拉致問題の早期解決を求める意見書
- ② 岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例
- ③ 岡垣町議会会議規則の一部を改正する規則

陳情

- ① 地下自由通路の見直しに関する陳情書(継続)
- ② 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情書(継続)

一般会計補正予算の主な使い道

● 総務費	
・有線放送等整備事業	120万円
・交通安全対策施設整備事業	320万円
・衆議院議員総選挙費	1,215万円
● 民生費	
・自立支援サービス事業費	590万円
・いこいの里運営事業費	846万円
● 衛生費	
・乳幼児感染症予防事業	1,157万円
● 農林水産事業費	
・就農支援事業	412万円
・農村環境整備(かんがい排水)事業	260万円
・農業用水路維持補修	595万円
● 商工費	
・中心市街地活性化支援事業	597万円
● 土木費	
・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(道路)	1,500万円
・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(排水路)	1,500万円
● 教育費	
・文化財保存展示施設管理運営事業	1,691万円
・校庭芝生化事業(測量設計)	98万円

補正予算の主要な財源

・地方交付税	1,134万円
・国県支出金	4,082万円
・繰越金	5,288万円
・諸収入	197万円
・一般財源	319万円
・町債	340万円

- 遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理をする事務の変更及び遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の変更について
- 遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について 〈一括議題〉

遠賀・中間地域広域行政事務組合で処理している老人福祉施設「静光園」を平成25年4月1日から社会福祉法人福祉松快園に帰属

反対

平山 弘 議員

老人福祉施設「静光園」を、民間の松快園に移譲するのは住民にとって大きな問題である。

住民の福祉の増進を図るといふ地方自治法による行政の責任を放棄するものである。

自治体は「措置費に加え経費がかさむ」「サービスは低下しない」といっているが、民間の人件費や施設の維持管理は一層厳しくなり、「同等のサービス」の前提が崩れかねない。

東日本大震災の大きな被害を被った福島県議会は「民営化」の掛け声で、重要な施設や公務員の削減をすすめて「住民の命と財産を守る」という役割を果たすことができるのか」と論議されており、民間移譲はサービスの低下が懸念される。

賛成

小野 元次 議員

遠賀・中間地域広域行政組合の老人福祉施設「静光園」の維持運営について、行財政対策委員会の審議報告を経て、広域行政組合提案の民間移譲に伴う議案である。

本施設は、昭和55年に建築され、築32年を経過して、施設の老朽化、設備機能の不備、専門性ある職員の育成や入居者へのサービスの低下などが懸念されるため、更なる福祉サービスや機能の向上を求めた民間移譲である。

入所者への措置入院補助負担については、従来通り変更無く、また、施設の勤務者の方々の職場配置も円滑に行われているとの報告があり、事務及び規約の変更について賛成とする。

太田 強 議員

遠賀・中間地域広域行政事務組合が運営している老人福祉施設「静光園」が民間委譲されることによる規約の改正及びこれにともなう財産処分について、当組合において平成18年頃から「行財政改革」が検討され、施設の老朽化が問題となり、平成21年には民間委譲について検討された。この時点で平成25年4月を目途にはつきり民間委譲が決定されている。その過程で職員の間で処遇や委譲の手続きもきちんと行われている。すべて問題なく処理されていると判断し、賛成である。

拉致問題の早期解決を求める意見書

北朝鮮に拉致された日本人を救出する福岡の会から提出された拉致問題意見書決議に関する請願

賛成

広渡 輝男 議員

拉致問題については、平成14年9月に北朝鮮は日本人拉致を認め、謝罪し、再発の防止を約束し、5人の被害者が帰国した。しかし他の被害者については、平成16年5月の日朝首脳会談では北朝鮮側より、直ちに真相究明のための徹底した調査を再開する旨の明言にもかかわらず、未だ進展はない。拉致事件が発生してから35年以上が経過し、拉致被害者並びに家族の方々の高齢化が進んでおり、その心情たるや筆舌に尽くしがたいものがある。日本政府に対して、すべての拉致被害者の1日も早い帰国が実現するように、総力を挙げて拉致問題解決に最大限の取り組みを求める。

町政を問う 一般質問



平山 弘 議員

平山 政府の発表によると7〜9月期の国内総生産は、3・5%減のマイナス成長です。要因は輸出の大幅減少、個人消費の落ち込みです。どのような所見をお持ちですか。

町長 しばらくはこのような状況が続くのではないかと、地方への影響を懸念しているところです。

平山 町民の生活や商工業者の実態を把握されていますか。

町長 個人町民税の納税義務者の総所得金額や、法人町民税、納税義務法人が減少しています。

平山 どうすれば良いと考えていますか。

町長 消費の拡大が必要で、法人が企業内の内部留保をせず賃金を確保することが大事だと考えています。

平山 住宅の増改築・リフォームで安全・安心の居住環境の向上を支援する住宅リフォーム制度を、地域経済を活性化する取り組みとして検討する考えはありませんか。

町長 県内の11市7町で実施していることは承知していますが、特定事業者にしかな恩恵がなく効果が小さいと考えています。

平山 実施市町では、町内の大工さんなど個人事業者から住宅関連業者まで適用されて



います。ある自治体の補助率は工事費の10%、上限20万円、予算500万円で、15倍の経済効果を上げ、税収増にもつながっています。

町長 リフォームは家主が必要に応じて計画するもので、補助金があるから計画に結びつくかは疑問です。リフォームに限っての補助は厳しいものがあると考えています。

平山

景気は後退局面、町民や商工業者の実態は

町長 経済の長引く低迷が影響している

議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	横山 貴子	西 美千代	小野 元次	太田 陽子	西田 陽子	安部 弘彦	下川路 勲	平山 弘	中村 好伸	広渡 輝男	神崎 宣昭	市津 広海
請願の撤回について	12/5	許可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の変更について	12/7	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	12/7	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
福岡県市町村災害共済基金組合規約の変更について	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県市町村災害共済基金組合の解散について	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う財産処分について	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 岡垣町一般会計補正予算(第2号)	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 岡垣町水道事業会計補正予算(第1号)	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 岡垣町下水道事業会計補正予算(第1号)	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 岡垣町一般会計補正予算(第3号)	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拉致問題意見書決議に関する請願書	12/7	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拉致問題の早期解決を求める意見書	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町議会会議規則の一部を改正する規則	12/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

当面の議員数は12名で

現職の岡垣町議会議員が、先に行われた岡垣町長選挙に立候補したことで、その議員は失職しました。

12月7日(金)までに岡垣町議会議員に欠員を生じなかったため、公職選挙法の関係規定に基づく町議会議員の補欠選挙は実施されませんでした。

そのため、町議会は議員定数13名のうち1名が欠員となり、当面の間は議員数12名の体制で議会を運営することになります。

※ 補欠選挙を行わなければならない事由

- 1) 議員定数の6分の1を超える議員が欠けたとき(岡垣町の場合は3名以上が欠けたとき)
- 2) 今後、議員の任期までに町長選挙が執行されたとき

町議会 50年

⑤ 三里松原射爆撃場

三里松原内に射爆撃場があつたことを知る人が少なくなり、風化した歴史として忘れられそうにあります。町を

あげての撤去・返還運動は、昭和53年6月7日の返還をもって終止符をうちますが、町制50年前半3分の1の間の、射爆撃場について振り返りました。

1 その背景

『岡垣町史』によると「終戦直後に芦屋飛行場を接收した米軍は、昭和20年10月1日に黒山地域の森林地帯約98万坪（327ヘクタール）を演習地とし、さらに、翌21年8月には38ヘクタールの防風保安林を伐採して対地射爆撃場を開設した」とある。朝鮮戦争を機に恒久的な射爆撃場となり、日米平和条約発効後も継続使用された。在日米軍のみの演習から昭和41年1月31

日日米共同使用となり、昭和43年4月からの訓練は米軍の縮小・航空自衛隊で拡大された。

訓練による葉きよう・模擬弾落下、保安林火災、爆音被害等で岡垣村・町民の暮らしに大きな影響を及ぼしてきていた。『町史』には戦闘機墜落事故3件の記述がある。

2 経過

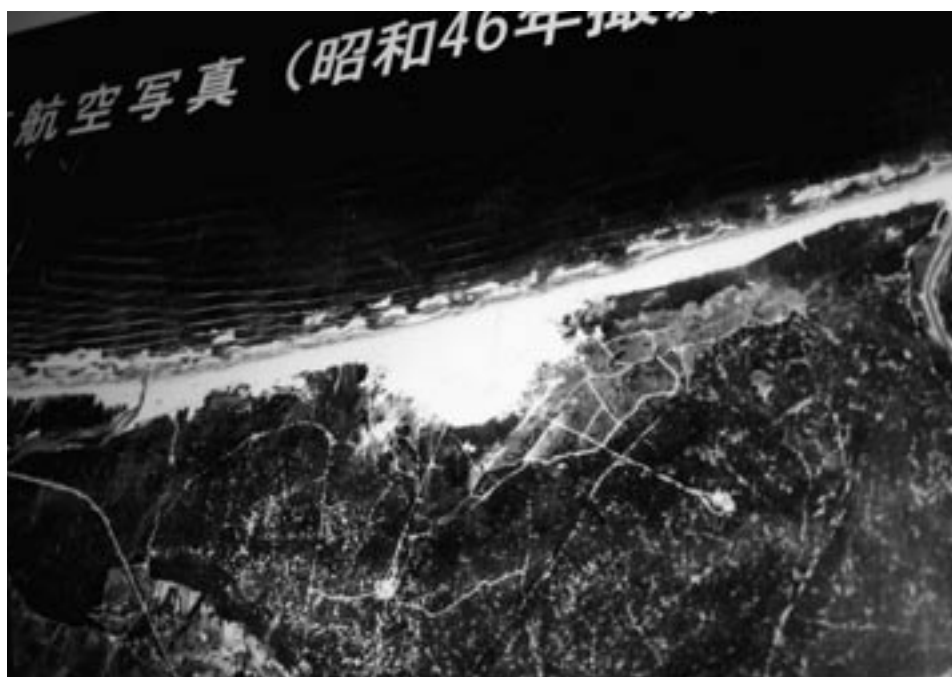
昭和35年12月米軍芦屋基地が我が国に返還されると射爆撃場反対運動が活発化し、昭和38年に耕作農民を機銃誤射する事故を機に、8月8日、臨時町議会で最初の「射爆撃場の即時撤去」が決議された。さらに12月9日、元松原内広場で町区長会主催の撤去町民大会が、約700人の町民参加のもと開催され、決議後関係機関への要請活動がされた。

以来、全町的な撤去への取り組みは継続的にされたが、転機となったのは昭和47年の3月末に射爆撃場が正式に日本政府に返還された時からであろう。

この年、射爆撃場使用同意をめぐり、「即時撤去」の考えと、「現実的な撤去」の手法の違いが議会内にも、町民の間でも表面化し、9月議会中に町長が議場で体調をこわして即入院という町政混乱の事態になった。

翌年の1月24日の臨時議会は、町長・助役不在のまま開かれた。その冒頭、「現実的な撤去」派から、事態解決に向けて緊急動議が出され、「意見書」のかたちでの議会意思を示す場となり、射爆撃場使用同意を認める結果になった。賛成11・反対5と議事録にある。変則ではあるが議事が成り立ち、機関である議会の意思が示された。

同意の条件として、5年後の再協議が撤去を意味するところが、議会内での協議であったことが、議事録外の協議にあったことが推則される。



昭和46年当時の三里松原射爆撃場の様子

同年3月7日に、町長の退職を議会が承認し、射爆撃場について、事実上の住民投票である町長選挙が行われた。結果として、「現実的な撤去」が「即時撤去」を凌いで、混乱は收拾に向かった。それを決定的にしたのは、

5月15日の閣議で使用期限を5年とする政府の統一方針が確認されたことである。返還のその日まで、訓練は続けられ、射爆撃場30年の対町補償としての公共インフラは、今もその姿を目にするごと日常である。

委員会活動レポート

文教厚生常任委員会

○障がい者福祉施設視察

8月22日・11月8日

本委員会は、平成24年8月22日と11月8日の両日障がい者福祉問題の取り組みとして、社会福祉法人の水巻町ワークはまゆう、芦屋町みどり園、岡垣町ふれ愛の郷、岡垣町あゆみヶ丘の施設を訪問し、障がい者の就労継続支援B型、生活介護、作業訓練就労移行支援、地域活動支援センター、児童発達支援等の事業視察・研修を行いました。

研修の中では、日常生活や社会への参加など、地域で自立することを目指して、積極的に取り組



ふれ愛の郷 販売コーナー



あゆみヶ丘での研修

まれていることを確認することができ、改めて障がい者福祉策の推進の重要性を再確認しました。この度の研修を通じ、本委員会では障がい者福祉の増進に向けて取り組まねばならないと確認したところです。

総務産業常任委員会

○松枯れ現地視察・森林管理署陳情

10月9日・26日・11月12日・21日

本委員会は、昨年从今年にかけて異常発生した三里松原の松くい虫被害を食い止めるために、まず元松原地区や東黒山地区の松林に入り、被害の実態調査を行い、また隣接する「さつき松原」の現状の視察も行いました。

さらには、三里松原保全対策協議会などの各種団体との連携を図り、行政・議会・対策協議会3者合同で森林管理署を訪問し、積極的な松枯れ防止対策の陳情も行いました。今後、本委員会は、先人が守り育ててきた三里松原という自然財産を、次世代へ引き継ぐために、国・県はじめ、行政と議

会と町民が一体となった取り組みを進めていきます。

またその他に、JR海老津駅南側開発に関して、近隣の駅周辺の視察調査等も行いました。



さつき松原を視察



枯れた松の中には…

議会の動き

議会運営委員会

9月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
9月24日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
10月1日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
10月9日	総務産業	陳情・松枯れ現地視察
10月15日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
10月17日	文教厚生	小中学校視察
10月25日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
10月25日	研修会	委員長・副委員長研修
10月26日	総務産業	松枯れ現地視察
10月30日	研修会	郡議長会議員研修
11月8日	文教厚生	町内障害者施設視察
11月9日	総務産業	陳情第3号(駅南)他
11月12日	総務産業	森林管理署へ陳情活動
11月16日	議会運営	12月定例会
11月21日	総務産業	陳情第3号(駅南)現地視察
11月28日	本会議	上程
11月28日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
11月29日	一般質問	一般質問1人
11月29日	文教厚生	付託議案審査
11月30日	総務産業	付託議案審査
12月3日	議会運営	付託議案審査
12月5日	本会議	会期の短縮・追加議案上程・請願の撤回
12月5日	全員協議会	普通会計財務書類他
12月6日	連合審査会	付託議案審査
12月7日	本会議	議決・発議
12月7日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
12月14日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集
12月26日	議会広報	議会だよりおかがぎの編集

平成24年10月4・5日、災害発生時における議会運営について研修するために、宮城県女川町および岩沼市を訪問しました。

もにあげたのは、何より情報源の死守、そして正しい情報共有・伝達手段の確保です。昨今、わが国において、いづこかで大地震が起きてもおかしくない状況にあり、台風や大雨等による風水害も拡大・深刻化するなか、住民の安全・安心を確保するため、



岩沼市役所にて

その対応が迫られています。当委員会でも、防災減災対策を重要課題のひとつとし

て、今回の視察研修で得たものを活かし、取り組んでまいります。また、被災後も、住民に寄り添い、その声に真摯に向かい合う考えのもと、早期に住民懇談会を開催した女川町の取り組みを参考に、岡垣町においても、より風通しの良い議会を目指していきます。



今もまだ残る被災の爪跡(女川町)

平成25年の幕開け

本年も幸多き一年でありますように



雪風景であけた
元日の朝



会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

祝成人



男136人 女139人 計275人が成人を迎えました

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

3月1日(金)
開会の予定

保育所の 議場見学



未来の議員…?

編集後記

広渡 輝男

昨年の暮れに総選挙が行われ、約3年半で自民党が政権与党に返り咲いた。政治に対する国民の信頼を確保することが如何に大切であるのかを如実に表した選挙ともいえる。

安倍政権は「取り戻す」を掲げ、日本経済の再生へ向けて大きくかじ取りが行われている。1月11日には平成24年度補正予算へ向けて日本経済再生に向けた緊急経済対策の閣議決定がおこなわれた。

しっかりと政治責任を果たしていただきたいと願うのみ。

「議会だより」では町議会50年のコーナーを設け、岡垣町の主な歩みを「①村から町へ②庁舎移転③総合計画④下水道」を紹介、本号では「⑤普屋対地射撃場」を紹介している。本コーナーは、曾宮議長が担当し、膨大な資料をまとめて「議会だより」に掲載ができた。感謝。岡垣の歴史資料として活用いただければ幸いです。

本年は巳年、脱皮して平穏で素晴らしい年になることを。

発行責任者

議長 曾宮良壽

議会広報特別委員会

委員長 広渡輝男
副委員長 西美千代
委員 横山貴子
委員 中村好伸
委員 神崎宣昭